

瀬戸内海国立公園指定 90周年記念シンポジウム開催

7月15日、瀬戸内海国立公園指定90周年記念シンポジウムが開催され、末永創造工学部長が藻場造成と豊かな瀬戸内海への道について基調講演し、コーディネーターとして池田知事、お笑いコンビ「コリコ」の田中氏、香川大生の池田氏(p.8)らとパネルディスカッションを行いました。



令和6年度大学・高専機能強化 支援事業に採択

6月26日、本事業により高度情報専門人材の確保に向けた支援を受け、香川大学では情報系コース・ユニットの受け入れ学生の増加、リカレント専門講座の開講などを通じ、5種類のDX推進人材(ビジネスアーキテクト、デザイナー、データサイエンティスト、ソフトウェアエンジニア、サイバーセキュリティエンジニア)すべてを網羅的に育成します。

日本政策投資銀行と連携協定締結 に関する記者会見開催

4月15日、香川大学が進める藻場の人工造成などの先進的な技術開発に、日本政策投資銀行が持つサステナビリティに関する知見を活かして経済性以外の価値創造に取り組みます。また、両者のノウハウを活用し、社会人が技能や知識を学び直す「リカレント教育」の高度化も目指します。



大学・地域共創プラットフォーム 香川総会を開催

3月27日、「大学・地域共創プラットフォーム香川」令和5年度第2回総会を開催しました。当会は産官学連携により、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目指します。



全国初!教師のキャリアプランニング 支援システム開発

7月3日、学びの場において教師自身が資質能力を客観的に評価でき、簡便かつ短時間で操作できること等を目的として全国に先駆けて新たに開発されたシステムの導入発表会が行われました。香川大、香川県教育委員会、株式会社KAKEAIの3者により開発され、香川の教育の充実・発展に寄与します。



数理・データサイエンス・ AI教育ワークショップ開催

6月17日、「数理・データサイエンス・AI教育」に焦点を当て、授業の実施や効果測定における工夫や苦労について共有し、各大学で実施している教育プログラムの質的向上を目的として「数理・DS・AI教育におけるFD〜5国立大学における授業の工夫よもやま話」をテーマにワークショップを開催し、大学及び行政関係者76名が参加しました。

瀬戸内国際芸術祭2022 香川大学作品のギャラリー設置

3月31日、瀬戸芸2022に出展した【瀬戸内仕事歌&四国民話オペラ「二人奥方」】の舞台背景画となった教育学部・古草敦史教授の原画ギャラリーを香川大学図書館に設置しました。取組を紹介するとともに、芸術に興味を持つ機会として、地域活動への動機に繋げることが目的です。



防災科学技術研究所 香川大学内サテライトオフィス開所

6月28日、防災科学技術研究所と香川大学が連携・協力し、自然災害のハザード・リスク評価に関する情報や観測データの利活用及び社会実装、地域の防災リテラシー向上などの課題に取り組む窓口・拠点とすることを目的として、サテライトオフィスを林町キャンパス内に設置しました。



橋渡し研究プログラム 令和6年度公募・preFに採択

4月24日、日本医療研究開発機構が公募していた「橋渡し研究プログラム 令和6年度公募・preF」に、香川大学医学部附属病院・田岡利宜也講師がマグミット製薬株式会社の協力のもと、橋渡し研究支援機関岡山大学を通じて提案した研究開発課題「根治切除不能腎細胞癌に対する希少糖D-アロースを用いた新規治療法の開発」が採択されました。

コンセプトは「奉仕の心」 医学部講義棟の改修工事完了

3月29日、竣工記念式典及び内覧会が開催され、透明ガラス壁を採用した開放的なラウンジや、用途に合わせて広さを変えられる共用室のように、学生が学修に勤しむための様々な工夫が披露されました。高度な専門知識に加え、奉仕の心を備えた将来の医療人の養成へ向けて発展します。



防災・減災×レジリエンス賞 シティ部門で最優秀賞受賞

2月2日、「防災・減災×サステナブル大賞2024」は防災・減災におけるレジリエンス向上やSDGs関連の活動及び成果を評価するものです。四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構が行う地域社会のレジリエンス向上に資する教育研究推進と人材育成の取組が評価されました。



NEWS & TOPICS vol.02

「香川県健康づくりトップ会談」を開催 ～人生100年時代を健康に生きるために～



香川県庁にて



香川県庁にて

香川県と坂出市において、令和6年5月から6月にかけて、健康づくりに関する社会学や行動学を専門に研究している東京大学大学院医学系研究科講師の高木大資氏、鎌田真光氏を健康づくり政策推進アドバイザー」として招聘し、「香川県健康づくりトップ会談」が行われました。これは香川県の健康寿命の延伸を目的とした特別企画であり、初めての試みです。香川県庁では池田知事と、坂出市役所では有福市長との会談に特別企画の提案者である山神副学長がファシリテーターとして加わり、県や市町が実施する取り組みへの幅広い助言や具体的な提案などがなされ、これからの県民の健康づくりについて、今後の発展が期待される会談となりました。

“自然と健康になれる”香川県に

知事の言葉で特に印象に残ったのは、香川ならではの様々な環境をさらに整えて、その環境を最大限に生かす住みたいまちづくりへの想いであり、県民に「健康を意識しよう!」と啓蒙する呼びかけよりも、美しいものを見たり、楽しいことに参加したりしているうちに気づいたら自然と健康になっていた、という状況を作り出すことが重要だと言われたことでした。また、坂出市長も坂出市全体を公園にみ立てて、人が集いたいと思える環境整備を計画し、誰もが住みたい来たいまちづくりをめざしています。令和6年度香川県が新設した健康づくり政策推進アドバイザーの高木氏と鎌田氏の加入は、人生100年時代、充実した生活が送れる健康寿命の延伸の成果に大きな期待感を持ちました。

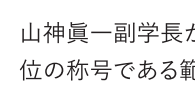


やまがみ しんいち
山神 真一

健やか香川21県民会議 会長
香川大学 副学長
(学生支援・広報・特命担当)

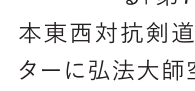
健康に
生きよう!

剣道部師範・総監督の山神副学長が 最高位の範士号授称



5月6日、剣道部師範・総監督の山神真一副学長が、剣道で最高位の称号である範士を授称しました。範士は名実ともにふさわしいと認められた人物にしか授与されない大変希少な称号であり、本年度の授与者は全国で僅か15名、香川県では現存者のうち3人目の快挙です。

空海の筆跡再び ～香川大学がAIを使って再現～



9月15日、高松市総合体育館で開催される「第70回記念全日本東西対抗剣道大会」のポスターに弘法大師空海の筆遣いを再現しました。再現した創造工学部岡崎慎一郎教授らは現存する史料をAIに学習させ、2つのAIを競わせるGAN(敵対的生成ネットワーク)という手法を採用しました。